

3-18(個人関係債権用)(記載例)

保証人変更承認申請書(その1)

独立行政法人住宅金融支援機構 御中

令和 7 年 10 月 1 日 提出

債務者	氏名 機構 太郎	住所 〒999-9999 東京都千代田区〇〇 〇丁目〇番〇号			
連帯債務者	氏名 機構 花子	住所 〒999-9999 東京都千代田区〇〇 〇丁目〇番〇号			
担保提供者	氏名	住所			
新連帯保証人 債務者との 関係 (親戚)	氏名(ふりがな) ネコウ イロウ 機構 一郎 (生年月日) 昭和40年1月3日	住所 〒999-9999 東京都文京区後楽1丁目4番10号 電話 03 (9999) 9999 携帯 090-9999-9999			
		勤務先 (株)機構商事 電話 03 (9999) 9999			
保証する融資額以外の借入額	前年の収入	6,000,000 円	現在の勤務先の就職年月	昭和60年 4 月	
	借入先	借入金の用途	借入残高	年間返済額の1/12	最終返済月
	〇〇銀行	住宅ローン	1,280万円	87,168円	令和35年 4月
	〇〇銀行	自動車ローン	150万円	28,306円	令和25年 4月
	〇〇クレジット	クレジット	50万円	10,000円	令和25年 6月
			万円	円	年 月
	合計※	1,480万円	125,474円		
脱退する連帯保証人	氏名 機構 三郎	住所 〒999-9999 東京都文京区後楽1丁目4番10号			
変更・追加・脱退を必要とする理由(該当する内容に「レ」を付けてください)					
<input type="checkbox"/> 収入の減少 <input type="checkbox"/> 死亡 <input type="checkbox"/> 行方不明 <input type="checkbox"/> その他 ()					

- 「前年の収入」については、収入証明書にある下記の金額を記載ください。
 (1)給与収入のみの方……支払給与の総額をご記入ください。
 (2)それ以外の方……所得金額を記載ください。
- 「保証する融資額以外の借入額」は、同申請書を記入した方が借入名義人となっている、現在ご返済中の借入金等全てをご記入ください。(書ききれない場合は、適当な用紙に「保証する融資額以外の借入額」欄の項目を記入してご提出ください。)
 ▼「保証する融資額以外の借入額」とは、「今回保証する融資額以外の機構融資」、「機構融資以外の住宅ローン」、「自動車ローン、教育ローン、カードローン、キャッシング」、「商品購入の分割払い」、「事業用ローン」などが対象となります。
 ▼事業用ローンの場合は、「借入金の用途」欄に、「事業用」とご記入ください。
 ⇒(表中の※)「合計」欄には、事業用ローンを含めないでください。
 ▼融資住宅の敷地の権利が「賃借権」の場合、「借入先」欄に「地代」と記入し、「年間返済額の1/12」欄には地代の年間支払額の1/12の金額をご記入ください。
 ▼ボーナス併用払いをご利用の場合は、「年間返済額の1/12」欄に、ボーナス払いを利用せず毎月払いのみと仮定して計算した毎月の返済額をご記入ください。

添付書類

- 新連帯保証人の収入(給与)証明書又は納税証明書(原本)
- 個人情報の取扱いに関する同意書(第3-6号書式)

(注)本書式は適宜変更して使用してよい。

(令和8年4月)